

ふれあいひろば

2025年10月1日発行 発行者 四中地区市民委員会 文化広報部

四中地区：人口 23,599人 男 11,762人 女 11,837人 世帯数 11,557世帯 R7.8.1現在

四中生、日本一に！



四中九年生の榊眞理さんが所属するアーティスティックスイミングチームが、今年の日本選手権にて、みごと日本一に輝きました。

5月に開催されたアーティスティックスイミング日本選手権で、ジョイフルアスレティッククラブASチームはチームフリールーティンで初優勝しました。日々の練習の成果を発揮することができたと思います。ご指導くださった先生方や、いつも支えてくれる家族に感謝しています。これからもっと頑張って練習に励んでいきます。

全国大会を終えて

榊 眞理



リポットガーデニング

講師：熊澤 康子



家にある鉢を再利用して寄せ植え

プリザーブドフラワーアレンジ

講師：吉田 裕美 (R*leafism)



プリザーブドフラワーで写真立てとボールペンを作りました

日替わりフィットネス

講師：富田 恵里子



毎回さまざま運動で健康になりました♪

呼吸と筋肉を整えて腰・肩をケアしよう

講師：東郷 俊輔 (株ビート)



正しい姿勢と呼吸に必要な運動ができました

令和 7 年度 前期公民館講座

楽しく学ぶ！認知症予防講座

講師：明治安田生命



今後の人生について良い学びがありました

簡単薬膳講座

講師：井上 舞衣



梅雨と夏の身体の不調に薬膳料理

基礎を身につけよう！スマホの使い方

講師：DX推進課



基本的なスマホの使い方を丁寧に教えてもらいました

まちづくりの実践をたたえる表彰

日時：令和 7 年 8 月 19 日 (火)
場所：市役所会議室

【個人の部】

● 菊池 怜子

下高津二丁目

— 環境美化・文化財の保護 (十一年間) —

永年にわたり、下高津二丁目町内全般の清掃及び霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦等に積極的に参加している。市の文化財でもある愛宕神社周辺においても清掃等を行うとともに一年を通しての各種行事の準備・運営に努めている。

● 宮本 一枝 天川二丁目

— 文化の振興・福祉の増進 (二十七年間) —

音楽の教職員としての経験を生かし、天川町内会・天寿会・ふれあい円クラブ・社会学級等でコーラスの指導を通して、音楽の楽しさ・発声練習・コーラスの発表会等高齢者の健康増進・生きがいづくりに貢献している。

● 清水 正紘

桜ヶ丘町

— 環境美化・防犯・交通安全 (十一年間) —

長年にわたり町内防犯パトロール活動、防犯連絡員活動に従事している。また、地区内小中学生の登下校見守り立哨など地域の子どものためのサポートを自発的に実施し、公園や近隣住宅周辺の除草作業なども率先して行っている。

【団体の部】

● 桜下会

— 奉仕活動・環境美化・防災 (十三年間) —

子ども育成会の役員を卒業したメンバーが中心となり発足した。子どもたちの見守りや子ども育成会の事業(廃品回収の手伝い・新入生を迎える会・卒業生を送る会など)のサポート、地域祭礼の手伝い、霞ヶ浦医療センターの草刈の手伝い、一丁目地内道路わきの草刈、カーブミラーの点検、防火見回り、タケノコ掘り、芋煮会の実施など、その時々々に適した事業を実施し、地域の交流に貢献するとともに、町内の活動にも積極的に参加している。



つくばサイエンスツアーに
 チャレンジ
 指導員 富島 進

第二回チャレンジクラブは、つくばサイエンスツアーを実施しました。AIST-Cubeでは、企業と連携した新しいタイヤ、布でできた未来型スピーカー、アザラシロボット等を見学しました。



筑波実験植物園では、子どもたちは、ハエトリソウなど昆虫をとっている植物を不思議そうに見ていました。

地図と測量の科学館では、赤青メガネで日本列島とその近海の地形を立体的に見ることができました。地図記号を探して歩くクイズラリーにも挑戦しました。



専門部役員・主事業紹介

福祉部

部長 為頭れい子
 副部長 菱沼 喜夫

- 【事業内容】**
- ・スポーツ健康部との共催事業（1月）
 - ・健康料理教室（3月）

安全部

部長 皆藤 修樹
 副部長 山本 忠嗣
 副部長 廣瀬 勝俊

- 【事業内容】**
- ・救急救命講習会
 - ・各イベントでの車両等の誘導
 - ・移動研修

スポーツ健康部

部長 樋口 洋一
 副部長 矢口 勝雄

- 【事業内容】**
- ・部員交流会（6月）
 - ・朝日峠登山（12月）
 - ・福祉部との共催事業（1月）

環境部

部長 松尾 安子
 副部長 金子 愛子
 副部長 仲田 秀治

- 【事業内容】**
- ・公民館花壇花植え（5月・11月）
 - ・出前講座（11月）

文化広報部

部長 野口 貴代
 副部長 山田 重美
 副部長 押田 健治

- 【事業内容】**
- ・広報紙発行（10月・3月）
 - ・公民館まつり内コンサート開催（10月）

全体事業

- ・公民館まつり
- ・四中地区歩く会（四中地区スポーツ協会共催）

★四中地区で何か載せたい情報・記事がございましたら、四中地区公民館までお知らせください。

【四中地区公民館】
 Tel : 029-824-9330
 Mail : 4tyuukou@city.tsuchiura.lg.jp



青少年育成部

部長 菊地 敏子
 副部長 岡崎さつき

- 【事業内容】**
- ・チャレンジクラブの協力（5月～2月）
 - ・あいさつ声かけ運動（7月・11月）
 - ・子ども図画・習字展（10月～11月）

愛宕神社の歴史をたどる (四) (最終回)

文化広報部 村山陽一

「古事記」によれば、軻遇突知命は伊邪那岐命により殺され、十拳剣の血から八柱の神々(名は省略)が生まれた。

- ・十拳剣先端からの血が岩石に落ちて生まれた三柱の神々
- ・十拳剣刀身の根元からの血が岩石に落ちて生まれた三柱の神々
- ・十拳剣柄からの血により生まれた二柱の神々

軻遇突知命の死体の頭、胸、腹、性器、左手、右手、左足、右足の部位から八柱の神々が生まれていると記されている。軻遇突知命は死してから、十六柱の神々を生み古代日本発展の礎を築いた神の一柱といえる。

社殿には江戸時代大山参りのものとして、刀身に「奉納石尊大権現諸願成就文化十二(一八一五)年六月土浦高津若者中」と彫られた黒漆塗り四m五十七cmの木刀がある。相模国大山阿夫利神社(雨乞いの水の恵み信仰の神)に、納め御太刀として氏子が登拝し納め、翌年に再度大山参りをした際に、前年奉納した太刀を愛宕神社に奉納したとされている。このほかにも子ども用白木の御太刀二振や多数の天狗面・絵等が愛宕神社に奉納されており、境内には常陸新治郡中家村による忠魂碑がある。

次号ふれあいひろばで、文化広報部栗原亮氏による解説を掲載予定です。

寄稿にあたり以下を参照。

- ・「旧中家村史(青木光行著)」
- ・土浦市博物館・第20回企画展より「土浦の神社「神々への祈り」―土浦の信仰と美術―」
- ・「土浦市史」寺嶋誠齋著 備考第三巻より

以下参考として、

岩間愛宕山縁由記(久左俱佐聚一)によると、岩間ノ地ハ明暦三丁酉年土屋敷直之ヲ領シテヨリ幕末ニ及ブ、土屋敷古ノ領地ナリ、而シテ下高津愛宕神社ハ岩間愛宕神社ノ分霊ト云ヘラレ、延宝七己未年土屋政直ノ創建スル所也、依テ本社ノ縁起二種ヲ採録ス、他ニ神官ノ偽作ト思ハル、モノアレド記サズ、末尾に「・・・」とある。



新刊図書案内

- ・謎の香りはパン屋から 土屋うさぎ 宝島社
- ・架空犯 東野圭吾 幻冬舎
- ・藍を継ぐ海 伊与原新 新潮社
- ・常識やぶりのアイデアおやつ「材料4つまで」の100レシピ SYUN COOKING 大和書房
- ・野火、奔る あさのあつこ 光文社文庫
- ・D'TOPIA 安堂ホセ 河出書房新社
- ・ノラネコまんたん ピザをやく 工藤ノリコ 白泉社
- ・人魚が逃げた 青山美智子 PHP 研究所
- ・正体 染井為人 光文社文庫

編集後記

「愛宕神社の歴史をたどる」も好評のうち、最終回を迎えました。社殿の茅葺き屋根は、現在改修中です。出来上がっていく様子を見学するのも良いですね。四中地区にもまだまだ面白い話があります。

